

令和6年度第2回松伏町総合教育会議 会議録

開催日時	令和6年10月16日(水) 午後3時20分から午後4時30分まで	
会議会場	松伏町役場 第二会議室	
出席者氏名	構成員	松伏町長 鈴木 勝 松伏町教育委員会教育長 岡田 直人 松伏町教育委員会教育長職務代理者 渡邊 淳子 松伏町教育委員会教育委員 會田 隆 松伏町教育委員会教育委員 増田 芳彦 松伏町教育委員会教育委員 池田 千恵美
	事務局等	企画財政課長 鈴木 英樹 企画財政課主幹 中島 輝昭 企画財政課主任 福永 将人 教育文化振興課長 黒田 和範 教育総務課長 坂寄 秀彰 教育総務課主幹 倉持 孝弘 教育総務課主査 池上 達典 教育総務課主任 浪江 大知
欠席者	なし	
傍聴人	なし	
次第 (協議又は調整が行われた事項)	1 開会 2 町長挨拶 3 教育長挨拶 4 協議・調整事項 (1) 令和7年度当初予算編成スケジュール (2) その他 5 閉会	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和6年度第2回松伏町総合教育会議次第</li> <li>・ 令和6年度第2回松伏町総合教育会議出席者名簿</li> <li>・ 資料1 令和7年度当初予算編成スケジュール</li> <li>・ 当日配布資料</li> <li>・ 松伏町総合教育会議運営要綱</li> <li>・ 松伏町総合教育会議傍聴要綱</li> <li>・ 松伏町総合教育会議傍聴要綱運用基準</li> </ul>	
議事録作成者	企画財政課総合政策担当 主任 福永 将人	

協議又は調整の要旨

議事	発言者	発言内容・決定事項
1 開会	事務局	会議の開会を宣言

2 町長挨拶	町長	町長の挨拶
3 教育長挨拶	教育長	教育長の挨拶
4 協議・調整事項		
会議録署名人の確認	事務局	会議録署名人は、町長部局側で町長と教育委員会側で會田委員の2名となる旨を報告する。
(1) 令和5年度における町内小中学校のいじめの発生状況について	事務局	協議・調整事項の進行は、会議招集者である町長に依頼する。
	町長（議長）	次第 4 協議・調整事項の(1) 令和7年度当初予算編成スケジュールについて、事務局より説明を求める。
	事務局	<p>(資料1に基づいて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上から1段目、3段目は町全体の動きとなる。まず2段目の教育委員会について、学校に関連する令和7年度当初予算編成スケジュールについて説明する。</li> <li>・今年度は10月11日までに各校から「令和7年度一般会計予算編成に伴う学校の要望」を教育委員会へ提出いただいた。</li> <li>・今後、各校に教育総務課担当職員が直接学校に向き、予算要望書をもとに学校長および事務職員からヒアリング及び現地調査を行う。</li> <li>・小中5校の要望を教育総務課としてとりまとめ、また教育文化振興課も所掌事業に関するものをまとめ、3段目に記載の通り、10月30日に企画財政課に予算要求書を提出する。</li> <li>・この予算要求書に基づき、11月の3段目に記載の通り、企画財政課によるヒアリングを実施する。</li> <li>・令和6年度は、11月12日～15日または月19日～22日のいずれかで実施予定となる。</li> <li>・次に12月の2段目について、12月18日の定例教育委員会で、「令和7年度松伏町一般会計予算のうち教育に関する事務に係る部分の見積もりについて」の議案を提出予定となる。</li> <li>・2月の2段目について、2月の定例教育委員会で</li> </ul>

		<p>「令和7年度松伏町一般会計当初予算に係る意見聴取について」の議案を審議いただき、同意する旨の議決をいただく予定となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•そして、3月議会で諮られ、可決を受けて、4月から各校予算を執行する流れとなる。</li> </ul>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>•追加説明として、本年度から第6次松伏町総合振興計画が開始した。昨年度の予算編成時点では第6次総合振興計画が策定中であったことから、令和7年度から更に第6次総合振興計画の特色を出した施策を進めていきたい。</li> <li>•また、本年4月、消滅可能性自治体として、松伏町が新たに指摘を受けたことから、定住化及び転入促進といった、子育てや若者世代に対する施策を重点的に令和7年度は事業展開出来たらと考えている。</li> </ul>
	町長（議長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>•質問等を求める。</li> </ul>
	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>•教職員の働き方改革が進められる中、働き方改革に関連する、町独自の予算はあるのか。</li> </ul>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>•現在、教育支援員を16名配置しており、この数は児童生徒の規模で他自治体と比較しても手厚く配置出来ていると認識している。教職員の負担も少なからず軽減することから働き方改革の手助けになっているのでは考えている。</li> </ul>
	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>•働き方改革の一環として、学校で顧問の先生が教える形をやめ、地域に根ざしたスポーツクラブなどに任せる「地域移行」に対する支援を町にお願いしたい。</li> </ul>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>•令和6年度当初予算に地域移行に関する予算有無は確認する必要がある。</li> <li>•部活動の外部指導者に対する報奨金については予算化している状況である。</li> </ul>
	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>•外部指導者への奨励金を使用出来るのは、部活動がある学校の外部指導者を対象としている。</li> <li>•必要なのは、部活動がない学校が、地域移行したクラブに対し、活動に必要な予算となる。</li> <li>•地域移行したクラブに対する補助の予算化は出来ないのか。</li> </ul>

	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国の動きとして、令和8年度から休日の部活動について地域移行にしていくことが示されている。</li> <li>• 町も地域移行に向けて進めていくため、近隣自治体の取組み状況を調査しており、今後どのように町として進めていくべきか検討していきたい。</li> </ul>
	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域移行に関する予算がないという現状に驚いている。子供たちにとって部活動は学校生活を送る上でのモチベーションの1つであると思う。子供たちも保護者も不安である。子供たちのためにすぐに動かなければならいのではと感じる。</li> </ul>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 予算を付ける前段で苦慮している。具体的には地域移行を担う受け皿となるスポーツクラブ等を見つけなければならい。見つけた後は、当町が想定する委託内容についての費用を精査し、最後に予算要求を行う。</li> <li>• 指導者の永続的な確保も課題となっている。</li> <li>• 地域移行に関する国の補助金も示されているが、現状、要件を満たすことが非常に厳しいと感じている。</li> <li>• 近隣の状況を見ながら、当町として出来ることからまずは進めていきたいと考えている。</li> </ul>
	町長（議長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 他に質問等を求める。</li> </ul>
	構成委員	【意見・質問なし】
(2) その他	町長（議長）	<p>続いて、次第 4 協議・調整事項の(2)その他について、事務局より説明を求める。</p>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 当日配布資料について説明する。</li> <li>• 「1 児童生徒タブレットの今後について」、令和3年3月に調達したタブレットの交換時期となるため、来年度以降、県の共同調達を経て新しいタブレットとなる。前回は共同調達ではなく町単独で調達し、当町では調達数 2,200 台、費用は約 1 億 5,000 万円かけ、全校へ配布した。少しでも費用削減のため次年度は県内の自治体と共同で調達することで費用削減効果を図る。</li> <li>• 「2 不登校児童生徒の現状と対策について」、(1) 不登校の現状については、不登校の現状の推移を掲載している。令和6年度は 8 月現在で示している。小学校では年々増加傾向にあるため、</li> </ul>

		<p>注視している。不登校の理由としては明確な理由がなく漠然とした要因が傾向として増えてきている。中学校では近年横ばいであるが、まずはこれ以上増加させないように注視して対応していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• (2)中学校「さわやか相談室」の現状について、写真は松伏第二中の様子である。写真左側は机にタブレットを置き、教室での授業内容をタブレットに映し遠隔で授業を受けれる部屋を提供している。大勢だと授業を受けられないが仕切りがあって一人なら受けられるなど、ニーズに沿った環境を整備している。写真右側は相談室となり、カウンセラーとの相談や面談が行える場所となる。</li> <li>• (3)松伏小学校SSR（スペシャルサポートルーム）について、松伏小学校で試験的に実施している部屋がある。これは、自分の教室に行きづらい生徒が利用し、生徒によって、1日や半日、1時間だけ利用するなど使い分けをしている。9月は18人の利用があり、18人の中にはお試し利用者などは含まれていないため実際はもう少し多い。</li> <li>• 「3松伏町小中学校児童生徒数の推移について」、年々児童生徒数は減少傾向にあり、ある程度の生徒が居ないと教育効果が高まらないと考えている。今後減少傾向にある状況を見据えてどのように対応していくべきか考えていかなければならない。</li> </ul>
	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• タブレットについて、公立高校で導入されたタブレットの3分の1が活用されていないという記事を読んだ。なぜ使われなかったのか原因は不明だが、当町の子どもたちが使って良かったと感じるタブレットの活用方法を検討いただきたい。</li> </ul>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各校のタブレットの活用状況については定期的を確認しており、活用方法については引き続き指導していきたい。</li> </ul>

	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松伏第二中のさわやか相談室や松伏小学校のSSRについて、実際、現場を見に行き、先生や保護者の方々からの声を聴きとても必要性を感じている。</li> <li>・さわやか相談室では遠隔で授業を受ける際、仕切りをすることで、落ち着き集中出来る子もいる。他にも様々な目的でさわやか相談室を利用する人がいると思う。同じ空間に居ながらお互いが気持ちよく利用できるよう、教職員もさわやか相談室の在り方や必要性を十分に理解し、また生徒たちも利用の仕方を意識しながら居場所をつくってほしい。</li> <li>・松伏小学校のSSRでは、他の学校でも利用したいという保護者からの声を聞いている。</li> </ul>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さわやか相談室については利用者人数等を適宜確認しながら、利用者、利用したい思う生徒のために学校と相談しながらその都度対応していきたい。</li> </ul>
	構成委員	【意見・質問なし】
5 閉会	町長（議長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議、調整事項について終了する。進行を事務局へ戻す。</li> </ul>
	教育長職務代理人	会議の閉会の挨拶
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終了し散会</li> </ul>

上記記載事項は、令和6年10月16日松伏町役場第二会議室において開催した、令和6年度第2回松伏町総合教育会議の内容を記録したものに相違ないことを認め、ここに署名する。

令和6年11月25日

署名人の職・氏名 町長 鈴木 勝

署名人の職・氏名 教育委員 會 田 隆